

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY明石大久保校			公表日		2025年 2月 18日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	5	椅子、机の配置を工夫してスペースを確保している。	今後利用人数を調整して、よりスペースを確保する事も検討していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	7	利用定員に対して基準の配置は満たされるよう、調整をしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	玄関の段差や窓があることにより角はあるが、保護をする、マットを敷くなどで環境を整備している。	壁面の安全対策が十分でない箇所があるため、対策のための工事について手配中です。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	日々清掃・消毒を徹底し、利用者様が健康・安全に過ごすことが出来るように配慮しています			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	7	個別の部屋や場所はありますが、場面に応じて落ち着いて過ごすことが出来るように物的・人的環境を整えるようにしています。	利用人数の調整などを行い、限られたスペースを広く保つことが出来るようにしていきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	5	朝礼や終礼などで情報共有をし、お子様の様子などを話し合い必要な支援について話し合っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	保護者向け評価表は実施しており、対応できる内容については職員で話し合い改善に向けて取り組むようにしている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	5	校内で解決できる内容については話し合うことが出来ています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	第三者評価は行っていません。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	月に1度、本社にてカリキュラムについて学ぶ機会があり、職員の質の向上を目指しています。	引き続き事例検討を通じた研修を継続し、より高い指導スキルをもつ育成者によりスキルアップできるようにしていきます。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	5	個別支援計画を元にしながらお一人お一人に合わせた支援プログラムを計画しています。	支援プログラムを公表することが出来ていけませんので、対応していきます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	保護者様と面談や指導員間でのミーティングを行いながら個別支援計画を作成しています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	指導員全員でこどもの最善の利益を考慮しながら個別支援計画を作成しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	個別支援計画をいつでも見られるようにし、計画を確認しながら支援を行っています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	決められたフォーマットを用いながらお子さまの状況を把握できるようにしています。			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	今年度よりそれぞれの項目を設けて個別支援計画を立て、支援をさせて頂いております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	朝礼の際に指導員全員でプログラムを計画しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	活動プログラムが固定化しないように朝礼で確認をしたり直近の支援の内容をすぐに確認したりできるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	お子様一人一人に合わせた個別支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援開始前の朝礼やお子様ご利用される前に打ち合わせを行って指導員が連携しながら支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	支援終了後に終礼を行い、当日の振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の支援は毎日個別で記録を取り、振り返りや終礼などの際に活用しながら支援の改善に繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年に一度モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	関係機関との連携は少ないですが、児童発達管理責任者と密に支援を行っている指導員が参加するようにしています。	関係機関との連携がまだ少ないので、密に連携を取れるようにしていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	保育園との連携は行っており、普段の支援に活かすようにしています。	保育園以外との連携が少ない為、保護者様と相談しながら各機関との連携を行っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		園との連携を更にすすめていきたいと考えているため、今後も保護者様と協力しながら進めて参ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	6		今後保護者様の意向に合わせて小学校との連携を行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	6	現在のところ、地域の児童発達支援センターとの連携を実地していません。		

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	地域との交流は現在実施しておりません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	保護者の方と送り迎え時や懇談の際などに連携をとりながらお子さまの状況の把握を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	家族支援プログラムは実施していないが、必要に応じて相談・援助が出来るような機会を案内する場面を設けました。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	運営規定や支援プログラムなどについて契約時にご説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	お子さまの最善の利益を踏まえながら、保護者の意向を確認しています。	今後、積極的にお子様自身にも意向を伺ってまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	児童発達支援計画を示しながら個別支援計画の同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	懇談や送り迎えの際に子育てに関する相談や援助を行い、必要があれば面談の機会を設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	茶話会を行って保護者同士の交流ができるような機会を設けています。	保護者の方同士の交流が出来る機会をより多くもてるようにし、またきょうだい同士で交流する場など新しい機会も検討していければと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	保護者の相談や申し入れに対しては随時聞き取りや対応を行うようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	4	定期的に情報を発信するようにしています。	今後より色々な発信ができるように検討をしていきたいと思っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取り扱いには十分配慮しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	お子さまや保護者様に寄り添った支援や情報の伝達ができるように、指導員間で適切な支援の方法を共有しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		地域との交流の機会が持ていないので、保護者の意向を伺いながら必要な運営が出来るようにしていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	マニュアルを完備し、それぞれの状況を想定した訓練を行っております。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	業務継続計画を策定し、定期的に訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	そのような状況のお子さまがおられた際は状況の把握に努めます。	現在は配慮が必要なお子さまがおられません。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	そのような状況のお子さまがおられた際は状況の把握に努めます。	現在は配慮が必要なお子さまがおられません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を作成し、定期的に部品の見直しや周辺状況の確認を行っております。	

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	安全計画を作成し、計画に基づいて訓練などを行う旨を契約時にお伝えしています。	計画や計画に基づいた取り組み内容について、更に詳細にお伝えできるようにしていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットを共有し、再発防止に向けて毎度ミーティングを行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止委員会や研修の機会を設けています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	契約の際にご確認をさせていただきます。	現在身体拘束を行うお子様がおりません。